

生産は再び前年比マイナス、個人消費は一部の業態で減速 有効求人倍率は全国と差が広がる

2月の鉱工業生産指数は前年同月比（原指数）で▲4.6%とマイナスとなった。また、3月の住宅着工戸数は▲50.5%と3カ月ぶりマイナス、4月の公共工事請負金額は同▲21.9%と2カ月ぶりのマイナスとなった。4月の企業倒産については、件数が6件（同+50.0%）、負債金額は4億40百万円（+7.3%）となった。

個人消費については、4月の乗用車新車販売台数総計（軽乗用車販売台数含む）は同▲11.7%と4カ月連続のマイナスとなった。3月の大型小売店販売（百貨店・スーパー）は既存店（店舗調整後）ベースで同5.3%と24カ月連続のプラスとなった。業態別では、ドラッグストアが同+8.1%と22カ月連続のプラスとなった一方で、コンビニエンスストアが同▲0.6%と24カ月ぶりにマイナスとなった。なお、3月の有効求人倍率（季節調整済）は前月比+0.01の1.25倍となっており、全国平均（1.28倍）を下回った。

各指数の矢印については
現状の景況感をあらわす。



上向き



横ばい



下向き

鉱工業生産指数

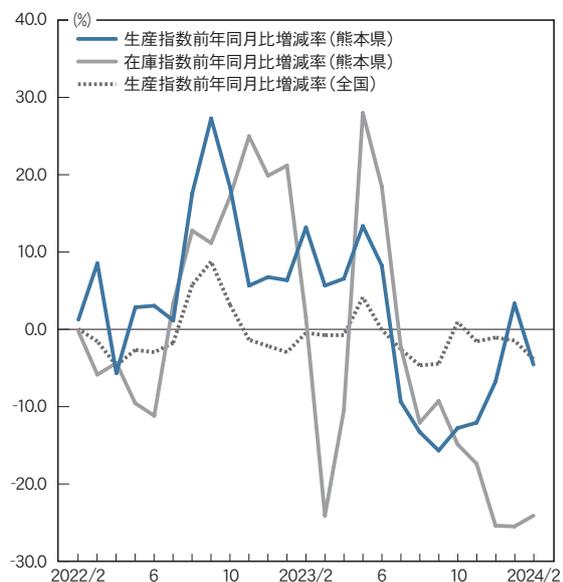


2カ月ぶり前年比マイナス（2月）

2月の鉱工業生産指数（原指数）は、前年同月比▲4.6%の111.0と2カ月ぶりにマイナスとなった。

生産指数（原指数）を業種別にみると、化学工業（前年同月比+42.9%）や電子部品・デバイス工業（同+23.1%）などの業種で上昇したが、汎用・生産用機械工業（同▲28.4%）や鉱業（同▲22.9%）などの12業種で低下した。なお、電子部品・デバイス工業の分類に含まれる集積回路は145.1（同+31.6%）と5カ月連続で上昇した。また、出荷指数（原指数）は111.7（同▲5.7%）と2カ月ぶりのマイナス、在庫指数（原指数）は70.1（同▲24.1%）と8カ月連続のマイナスとなった。

鉱工業生産・在庫指数前年同月比 （熊本 2020年=100原指数）
（全国 2020年=100原指数）



資料：熊本県統計調査課、経済産業省

住宅着工

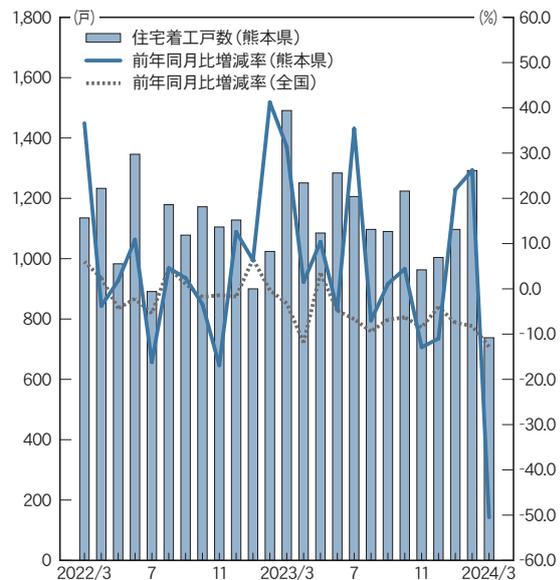


着工戸数は3カ月ぶりマイナス（3月）

3月の新設住宅着工戸数は、738戸の前年同月比▲50.5%となり、3カ月ぶりのマイナスとなった。

利用関係別にみると、持家が283戸（前年同月比▲19.8%）、貸家は357戸（同▲55.8%）、分譲は95戸（同▲66.5%）となっている。県北地域での企業集積に伴い、2023年度は住宅需要先取りの動きが一巡したことから、着工戸数は一時的に減少した。今後については、jasm第2工場の建設が公表されたことで、新築住宅の需要は引き続き高いものと想定される。今後の新設住宅着工件数の推移は注視が必要である。なお、全国の3月の新設住宅着工戸数は、64,265戸（同▲12.8%）となっており、10カ月連続のマイナスとなった。

新設住宅着工戸数前年同月比



資料：国土交通省

公共工事



請負金額は前年比マイナス（4月）

4月の公共工事件数は前年同月比+10.2%の356件となり、請負金額は同▲21.9%の244億円と

公共工事請負金額前年同月比

以降は会員専用ページにて公開しております。
ご覧頂くには、入会手続き後、会員専用ページよりアクセスをお願いします。
[ご入会はこちらから](#)
(入力分は数分で終わります)
[会員の方ははこちらから](#)

